

# (12) UK Patent Application (19) GB (11) 2 072 713 A

(21) Application No 8115906  
(22) Date of filing 28 Sept 1979  
(43) Date of issue  
7 Oct 1981

(51) INT CL<sup>3</sup> (as given by ISA)  
D04B 15/36 15/82

(52) Domestic classification  
D1C 1C2

(56) Documents cited by ISA  
JP A 46-2978  
JP A 50-36757  
JP U 53-104260

(58) Field of search by ISA  
INT CL<sup>3</sup> D04B 15/36 D04B  
15/82

(71) Applicants  
Shima Idea Center Co Ltd,  
357 Kozaki,  
Wakayama-shi,  
Wakayama-ken, 640  
Japan

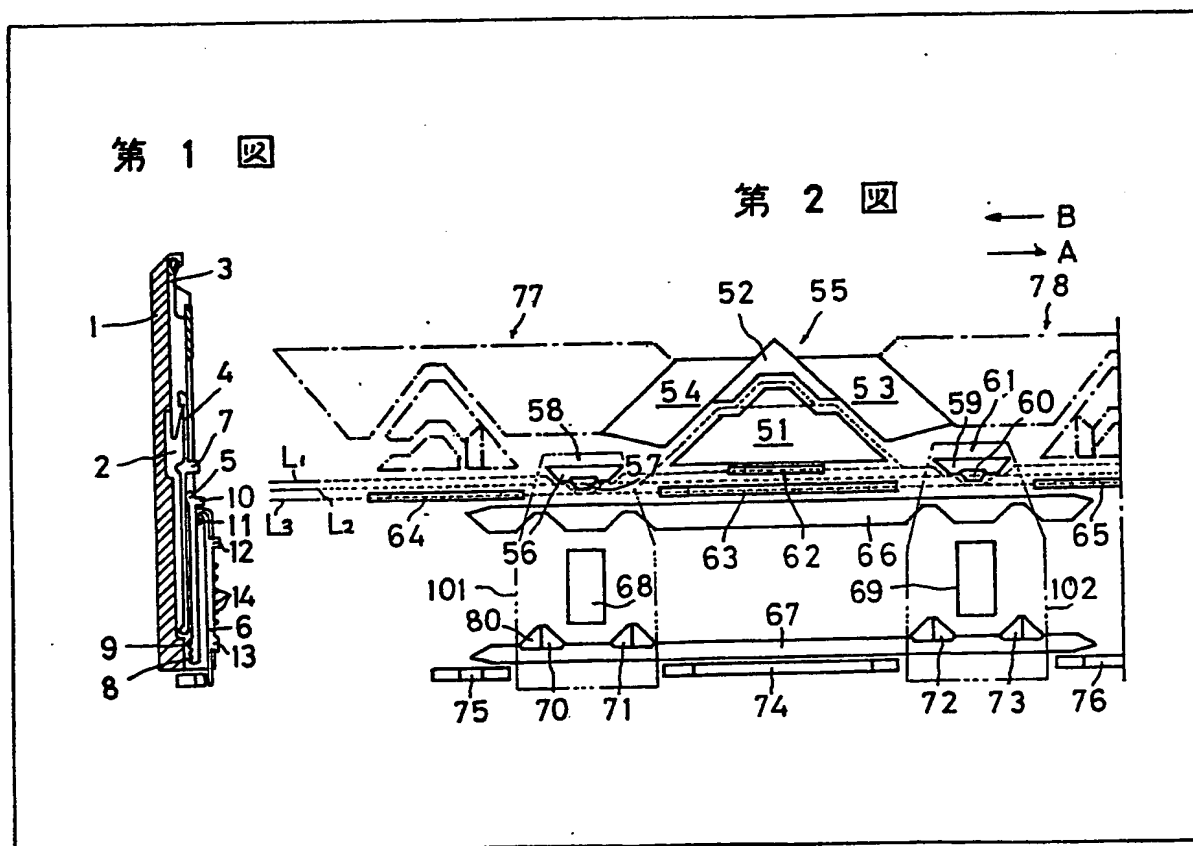
(72) Inventor  
Masahiro Shima

(74) Agents  
G. Rathbone & Co.,  
Eastcheap House,  
Central Approach,  
Letchworth,  
Hertfordshire, SG6 3DS

(54) Method of and device for selecting  
needle for weft knitting machine

(57) Method of and device for selecting  
a needle for a weft knitting machine  
which includes, in order to select one of  
knit, tack and welt positions for the  
needle, a needle selecting member  
(101) provided on one side of a lock (55)  
located on a carriage, the needle  
selecting member comprising an  
electromagnetic needle selecting  
actuator (68) and cams (58), (70) and  
(71), and another needle selecting  
member (102) provided on the other  
side of the lock (55) and comprising an

electromagnetic needle selecting  
actuator (69) and cams (72) and (73), to  
thereby preliminarily select the needle  
by the needle selecting member (101)  
disposed at the rear side of the  
advancing direction of the carriage (the  
direction of an arrow A) so as to divide  
the needles into two groups and to  
further select the needle by the other  
needle selecting member (102) as  
preliminarily selected previously when  
the carriage reverses its direction of  
movement (the direction of an arrow B)  
so as to further divide the needles into  
two groups in order to thereby select  
one of the knit, tack and welt positions.



GB 2 072 713 A

## ⑫ 特許公報(B2)

昭61-20670

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>  
D 04 B 15/82識別記号 庁内整理番号  
A-6936-4L

⑭ 公告 昭和61年(1986)5月23日

発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 横編機における選針方法及び装置

⑯ 特 願 昭54-501611

⑰ 国際出願 PCT/JP79/00248

⑱ 出 願 昭54(1979)9月28日

⑲ 国際公開番号 WO81/00869

⑳ 国際公開日 昭56(1981)4月2日

㉑ 国際公開日

㉒ 発 明 者 島 正 博 和歌山市今福1丁目3番22号

㉓ 出 願 人 株式会社 島アイデ 和歌山市神前357番地  
ア・センター

㉔ 代 理 人 弁理士 大野 克 躬 外2名

審 査 官 鈴 木 法 明

1

## ㉕ 請求の範囲

1 1つのロックの移行方向の前後両側に、選針部材を設け、後行する選針部材により針を2つの群に予備選針し、次いで、反転移行時に、先行する選針部材により、前記予備選針した2つの群の針のうちの1つの群を更に2つの群に選針する横編機における選針方法。

2 キャリッジに設けた1つのロックの両側に、針を2群に選針できる選針部材をそれぞれ設けたことを特徴とする横編機における選針装置。

## 技術分野

この発明は横編機における選針方法及び装置に関する。更に詳述すればこの発明は編地編成を行なう際の針のポジション、即ち、ニット、タック、ウエルトなどの3ポジションを、電気的操作を交えた針操作をすることによつて選択する選針方法及び装置に関する。

## 背景技術

横編機において、電気的に針を直接に選針する場合、電磁石などを用い、電磁石などをオンオフすることによつて電磁石などの動きを適宜針に伝え、針の動きを制御することは行なわれているが、この操作では針を2つの群に分けることしかできない。また、電気的な予備選針系をロックと組み合わせたものも、1ロックに対し1予備選針系であるために、効率の良い編成動作とは云え

2

ず、キャリッジのストロークも大きい。

横編機において、機械的手段を用いてニット、タック、ウエルトの3ポジションに選針する場合にはプリズムを使用し、ウエルトポジションとそれ以外のポジションに分け、更にウエルト以外のポジションの針を更にタックとニットに分ける方法がある。

この場合タックポジションをとる針とニットポジションをとる針とはそれぞれあらかじめバットの高さを異ならしめておき高針と低針によつて分けなければならない。そのため針の種類に制限されて自由に柄を選定することができず、柄を変更するには針の種類も変えなければならない。

## 発明の開示

本発明装置は、キャリッジ上の1つのロックの両サイドに選針部材を設けている。

本発明方法は、キャリッジの進行方向後側に位置する選針部材により、既に編成を終了した針について予備選針を行なつて、該針を2群に選針し、引き続くキャリッジの反転移行時に、前記予備選針によつて分けられた2群のうち1つの群の針についてキャリッジの進行方向前側に位置する選針部材により更に2つの群に選別することにより針を3つのポジションに選針する。

このことによつて、1ロックとその両側に位置する選針部材によつて3ポジションの選針を行な

3

うことができ、かつ、キャリッジの1行程で予備選針と二次選針とを同時に行なうことができる。更に、編巾に対するキャリッジの移行巾を減少できる。

また、柄の変更に際して針を変更することなく5 柄配置を自由に行なえる。

#### 図面の簡単な説明

第1図は針床の縦断側面図、第2図は1ロックキャリッジのカム配置をカムの地板を透視して見た平面図、第3図は2ロックキャリッジのカム配置をカムの地板を透視して見た平面図である。10 発明を実施するための最良の形態

第1図に針床の断面を示す。1は針床で、針床1に等間隔で平行に穿設した針溝2に、針3、ジャック4、セレクトジャック5、セクター6が15 摺動自在に嵌合されている。ジャック4はその先端の屈曲部が針1の凹陷部に嵌合し両者は一体に摺動できる。7はジャックバットである。セレクトジャック5は、端部に針のニット、タック、ウエルトの各位置に相当する間隔で凹部8を有し、20 該凹部8と針床1の長手方向に設けたピン9とを係合させて位置をみだりに動かさないようにしている。10はセレクトジャックバット、11はセレクトジャックの脱落を防止するピンである。セレクト6はその先端がセレクトジャックバット25 10に当接するよう位置している。12、13、14はセクターバットである。

本実施例ではセクター6は、セクターバット12、13間に位置するセクターバット14の位置を6通りに変化させ、6種類を用意してい30 る。

第2図に1ロックを有するキャリッジのカム配置を示す。

51はクリアリングカムで、その上部にガードカム52を、クリアリングカム51の両側にはニッ35 テングカム53、54を、それぞれ設けることによりロック55を構成する。ロック55の左右両側には、固定カム56と可動カム57とで構成されたセレクトジャック下げカム58と、固定カム59と可動カム60とで構成されたセレクトジ40 ャック下げカム61とを設ける。62、63、64、65はセレクトジャックブレッシャーカム、66、67はセクターガイドカムで、セクターガイドカム66、67の間に位置して前記セ

4

クトジャック下げカム58、61の下位に選針アクチエーター68、69を設ける。選針アクチエーター68、69は共に、図示しない記憶部材からの電気信号にもとずいて、セクター6のバット14に当接し、セクター6を選択的に上昇させる。セクターガイドカム67には選針アクチエーター68、69の両側下部に位置してセクター突上げカム70、71、72、73を設ける。セレクトジャック下げカム58、選針アクチエーター68、セクター突上げカム70、71によつて1組の選針部材101を構成し、セレクトジャック下げカム61選針アクチエーター69、セクター突上げカム72、73によつて1組の選針部材102を構成する。74、75、76はセクター浮揚カム、77、78は目移し用カムである。

第3図に2ロックを有するキャリッジのカム配置を示す。第2のロック550を第1のロック55の一側に設ける。第2のロック550はクリアリングカム510、ニッティングカム530、540よりなる。それに従つてセレクトジャック下げカム610選針アクチエーター690、セクター突上げカム720、730などよりなる選針部材103を設ける。

次に本発明方法につき説明する。

第2図に示す1ロックを有するキャリッジによる編成の場合、キャリッジが右行(矢印A方向に移動)し、ロック55により編成が終了すると、 $L_1$ の高さにある、タックポジションに位置した針のセレクトジャックバット10と、 $L_2$ の高さにある、ニットポジションに位置した針のセレクトジャックバット10とが、固定カム56と可動カム57とよりなるセレクトジャック下げカム58に、当接する。このとき可動カム57が突出しているため、当接したすべてのセレクトジャックバット10は可動カム57により押し下げられ、下位置 $L_2$ の位置となる。ウエルトポジションにあつた針のセレクトジャックバット10は下位置 $L_2$ のまゝであるから、すべてのセレクトジャックバット10は下位置をとることになる。このとき選針アクチエーター68を図示しない記憶装置の記憶にもとずき作動させ、次コースの編成をする際にウエルトポジションをとる針のセレクトジャック5を除いた他のすべてのセレクトジャック

5

5に対応するセクター6を選択する。選択は選針アクチュエーター68によつてセクターバット14を押すことによつてなされ、セクターバット14を押圧されなかつたセクター6は、キャリッジのA方向移動によりバット13をセクター突上げカム70に当接し、それにより上昇しその上昇動によつてセレクトジャック5を上昇し、セレクトジャックバット10を上位置 $L_1$ に位置させる。そしてセクター6はバット12がセクターガイドカム66に当接し押し下げられる。10このようにして、キャリッジの右行(矢印A方向)と選針部材101の作用によつて、セレクトジャック5は、そのバット10の位置を上位置 $L_1$ (次コースでニットポジションをとる針とタックポジションをとる針)と下位置 $L_2$ (次コースでウエルトポジションをとる針)とに分けられ予備選針が終了する。キャリッジは編機の右端部で反転し左行(矢印B方向)を開始する。

キャリッジの左行(矢印B方向)時には、セレクトジャック下げカム58の可動カム57は退没しており、上位置 $L_1$ に位置するセレクトジャックバット10はすべて固定カム56で中位置と $L_2$ に下げられ、下位置 $L_2$ に位置するセレクトジャックバット10はそのまゝ下位置 $L_2$ を保っている。同時にセクター6のバット13はセクター突上げカム70の斜面80を通過して、上下動はせず選針アクチュエーター68と対応する。こゝにおいて第2次の選択が行なわれる。予備選針で下位置 $L_2$ に位置されたセレクトジャックバット10の内、タックポジションに位置させる針30のセレクトジャック5に対応するセクター6を、前記した予備選針と同様手段によつて選針アクチュエーター68を作動して、選別する。選別されたセクター6はセクター突上げカム71によつて上昇され、その上昇により、セレクトジャック5は上昇させられ、セレクトジャックバット10は上位置 $L_1$ に位置することになる。

上記のようにしてキャリッジの左行時(矢印B方向)に第2次選針によつて上位置 $L_1$ 、中位置 $L_2$ 下位置 $L_3$ の3位置に分けられたセレクトジャック5はロック55によつて、それぞれのセレクトジャック5に対応する針3が操作されて編成が行なわれる。

下位置 $L_3$ に位置するセレクトジャックバット

6

10は、セレクトジャックプレッシャカム63により押圧され、該セレクトジャック10に対応する針3のジャック4のジャックバット7を針溝2内に退没させるために該ジャックバット7はロック55のクリヤリングカム51と当接せず全く上昇しない。即ちウエルトポジションをとる。

中位置 $L_2$ に位置するセレクトジャックバット10はロック55において何等の操作も受けず、ジャックバット7はクリヤリングカム51に従つて上昇し、該セレクトジャックに対応する針3はニットポジションをとる。

上位置 $L_1$ に位置するセレクトジャックバット10はロック55の中央部においてセレクトジャックプレッシャーカム62により押圧される。それまでに対応するジャック4のバット7はクリヤリングカム51に当接し針3を上昇させている。前記押圧によりジャックバット7がクリヤリングカム51を横切るまでジャックバット7を針溝2内に退没させるために、該ジャックバット7はクリヤリングカム51の頂部付近でクリヤリングカム51に当接せずにそれを横切つてニッティングカム53に当接し下降される。

次いで、セレクトジャック下げカム61の可動カム60を突出した状態で、上位置 $L_1$ 中位置 $L_2$ のセレクトジャックバット10をすべて下位置 $L_3$ に下げ、選針アクチュエーター69を作動して上記下位置 $L_3$ のジャックバット10の内、次コースの編成においてタックポジションをとる針とニットポジションをとる針を予備選針し、セクター突上げカム73によつて上記予備選針した針のセクター6を上位置 $L_1$ に上昇させキャリッジの左行(矢印B方向動)を終了する。

以下前記したと同様にキャリッジ、カム及び選針アクチュエーターの操作を繰り返す。

35 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

なお、編成途中において、目移しが必要となる場合には、ロック55の両側に設けた目移し用カム77、78に、選針アクチュエーター68、又は69の操作で選針した針を導き目移しの操作をする。

また2ロック式キャリッジを用いた場合でもその選針操作は1ロック式と同様である。

#### 産業上の利用可能性

本発明方法及び装置は、柄の配置及び形状を自由に発現したジャカード柄編地の編成、インター

7

8

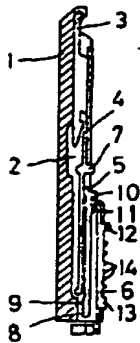
シャ編地の編成に利用できる。

# 要約書

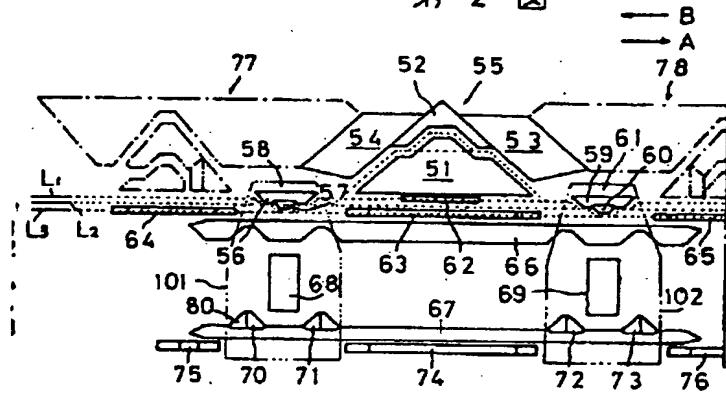
本発明は横編機における選針方法及び選針装置に関するもので、針のニット、タック、ウエルトの3ポジションを、電氣的に、電磁石を用いて選針するために、キャリッジに設けた1つのロック

の両サイドに選針部材を設け、キャリッジの進行方向後側に位置する選針装置により針の予備選針を行ない針を2つの群に分け、キャリッジの反転動時に前記予備選針した針を更に選針して更に2つの群に分けることによつて上記3ポジションの選択を行なうようにした。

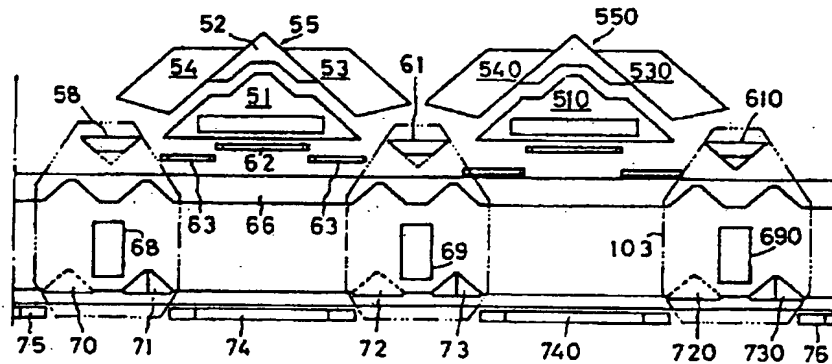
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第3部門(5)

## 特許公報の訂正

(昭和61年11月18日発行)

昭和61年5月23日発行の特許公報61-517(3(5)-15〔249〕)の中特許出願公告昭  
61-20670号は発明の名称・明細書誤載の為、別紙公報をもつて訂正する。

尚、本訂正公報発行後2ヶ月間は異議申立期間経過後であつても意見申立書の提出を受けつける。

公告日は昭和61年5月23日とする。従つて仮保護の権利の発生日、権利の存続期間の起算日は最  
初の公報掲載日となる。

## 記

Int. Cl.<sup>4</sup> 識別記号 庁内整理番号  
D 04 B 15/82 7352-4 L

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公告

⑫ 特 許 公 報 (B2) 昭61-20670

⑤ Int.Cl.<sup>4</sup>  
D 04 B 15/82

識別記号 庁内整理番号  
A-6936-4 L

⑭公告 昭和61年(1986)5月23日

発明の数1(全4頁)

⑮発明の名称 横編機における選針方法

⑯特 願 昭54-501611

⑰国際出願 PCT/JP 79/00248

⑱⑳出 願 昭54(1979)9月28日

㉑国際公開番号WO 81/00869

㉒国際公開日 昭56(1981)4月2日

㉓国際公開日

㉔発 明 者 島 正 博 和歌山市今福1丁目3番22号

㉕出 願 人 株式会社 島アイデ 和歌山市神前357番地  
ア・センター

㉖代 理 人 弁理士 大野 克躬 外2名

審 査 官 鈴 木 法 明

1

2

㉗請求の範囲

1 1つのロックの移行方向の前後両側に、選針部材を設け、後行する選針部材により針を2つの群に予備選針し、次いで、反転移行時に、先行する選針部材により、前記予備選針した2つの群の針のうちの1つの群を更に2つの群に選針する横編機における選針方法。

技術分野

この発明は横編機における選針方法に関する。更に詳述すればこの発明は編地編成を行なう際の針のポジション、即ち、ニット、タック、ウエルトなどの3ポジションを、電気的操作を交えた針操作をすることによって選択する選針方法に関する。

背景技術

横編機において、電気的に針を直接に選針する場合、電磁石などを用い、電磁石などをオンオフすることによって電磁石などの動きを適宜針に伝え、針の動きを制御することは行なわれているが、この操作では針を2つの群に分けることしかできない。また、電気的な予備選針系をロックと組み合わせたものも、1ロックに対し1予備選針系であるために、効率の良い編成動作とは云えず、キャリッジのストロークも大きい。

横編機において、機械的手段を用いてニット、タック、ウエルトの3ポジションに選針する場合

にはプリズムを使用し、ウエルトポジションとそれ以外のポジションに分け、更にウエルト以外のポジションの針を更にタックとニットに分ける方法がある。

この場合タックポジションをとる針とニットポジションをとる針とはそれぞれあらかじめバットの高さを異ならしめておき高針と低針によつて分けなければならない。そのため針の種類に制限されて自由に柄を選定することができず、柄を変更するには針の種類も変えなければならない。

発明の開示

本発明方法は、キャリッジの進行方向後側に位置する選針部材により、既に編成を終了した針について予備選針を行なつて、該針を2群に選針し、引き続きキャリッジの反転移行時に、前記予備選針によつて分けられた2群のうち1つの群の針についてキャリッジの進行方向前側に位置する選針部材により更に2つの群に選別することにより針を3つのポジションに選針する。

このことによつて、1ロックとその両側に位置する選針部材によつて3ポジションの選針を行なうことができ、かつ、キャリッジの1行程で予備選針と二次選針とを同時に行なうことができる。更に、編巾に対するキャリッジの移行巾を減少できる。

また、柄の変更に際して針を変更することなく

(2)

特公 昭 61-20670

3

4

柄配置を自由に行なえる。

#### 図面の簡単な説明

第1図は針床の縦断側面図、第2図は1ロックキヤリツジのカム配置をカムの地板を透視して見た平面図、第3図は2ロックキヤリツジのカム配置をカムの地板を透視して見た平面図である。

本発明方法を実施するための装置を次に説明する。

発明を実施するための最良の形態

第1図に針床の断面を示す。1は針床で、針床1に等間隔で平行に穿設した針溝2に、針3、ジャック4、セレクトジャック5、セクター6が摺動自在に嵌合されている。ジャック4はその先端の屈曲部が針1の凹陥部に嵌合し両者は一体に摺動できる。7はジャックバットである。セレクトジャック5は、端部に針のニット、タック、ウエルトの各位置に相当する間隔で凹部8を有し、該凹部8と針床1の長手方向に設けたピン9とを係合させて位置をみだりに動かさないようにしている。10はセレクトジャックバット、11はセレクトジャックの脱落を防止するピンである。セクター6はその先端がセレクトジャックバット10に当接するよう位置している。12、13、14はセクターバットである。

本実施例ではセクター6は、セクターバット12、13間に位置するセクターバット14の位置を6通りに変化させ、6種類を用意している。

第2図に1ロックを有するキヤリツジのカム配置を示す。

51はクリアリングカムで、その上部にガードカム52を、クリアリングカム51の両側にはニッティングカム53、54を、それぞれ設けることによりロック55を構成する。ロック55の左右両側には、固定カム56と可動カム57とで構成されたセレクトジャック下げカム58と、固定カム59と可動カム60とで構成されたセレクトジャック下げカム61とを設ける。62、63、64、65はセレクトジャックプレッシャーカム、66、67はセクターガイドカムで、セクターガイドカム66、67の間に位置して前記セレクトジャック下げカム58、61の下位に選針アクチエーター68、69を設ける。選針アクチエーター68、69は共に、図示しない記憶部材か

らの電気信号にもとずいて、セクター6のバット14に当接し、セクター6を選択的に上昇させる。セクターガイドカム67には選針アクチエーター68、69の両側下部に位置してセクター突上げカム70、71、72、73を設ける。セレクトジャック下げカム58、選針アクチエーター68、セクター突上げカム70、71によつて1組の選針部材101を構成し、セレクトジャック下げカム61選針アクチエーター69、セクター突上げカム72、73によつて1組の選針部材102を構成する。74、75、76はセクター浮揚カム、77、78は目移し用カムである。

第3図に2ロックを有するキヤリツジのカム配置を示す。第2のロック550を第1のロック55の一侧に設ける。第2のロック550はクリアリングカム510、ニッティングカム530、540よりなる。それに従つてセレクトジャック下げカム610選針アクチエーター690、セクター突上げカム720、730などよりなる選針部材103を設ける。

次に本発明方法につき説明する。

第2図に示す1ロックを有するキヤリツジによる編成の場合、キヤリツジが右行(矢印A方向に移動)し、ロック55により編成が終了すると、 $L_1$ の高さにある、タックポジションに位置した針のセレクトジャックバット10と、 $L_2$ の高さにある、ニットポジションに位置した針のセレクトジャックバット10とが、固定カム56と可動カム57とよりなるセレクトジャック下げカム58に、当接する。このとき可動カム57が突出しているため、当接したすべてのセレクトジャックバット10は可動カム57により押し下げられ、下位置 $L_2$ の位置となる。ウエルトポジションにあつた針のセレクトジャックバット10は下位置 $L_2$ のまゝであるから、すべてのセレクトジャックバット10は下位置をとることになる。このとき選針アクチエーター68を図示しない記憶装置の記憶にもとずき作動させ、次コースの編成をする際にウエルトポジションをとる針のセレクトジャック5を除いた他のすべてのセレクトジャック5に対応するセクター6を選択する。選択は選針アクチエーター68によつてセクターバット14を押すことによつてなされ、セクターバット14



(3)

特公 昭61-20670

5

6

を押圧されなかつたセレクトー6は、キャリッジのA方向移動によりバット13をセレクトー突上げカム70に当接し、それにより上昇しその上昇動によつてセレクトジャック5を上昇し、セレクトジャックバット10を上位置 $L_1$ に位置させる。そしてセレクトー6はバット12がセレクトーガイドカム66に当接し押し下げられる。このようにして、キャリッジの右行(矢印A方向)と選針部材101の作用によつて、セレクトジャック5は、そのバット10の位置を上位置 $L_1$ (次コースでニットポジションをとる針とタックポジションをとる針)と下位置 $L_3$ (次コースでウエルトポジションをとる針)とに分けられ予備選針が終了する。キャリッジは編機の右端部で反転し左行(矢印B方向)を開始する。

キャリッジの左行(矢印B方向)時には、セレクトジャック下げカム58の可動カムは退没しており、上位置 $L_1$ に位置するセレクトジャックバット10はすべての固定カム56で中位置と $L_2$ に下げられ、下位置 $L_3$ に位置するセレクトジャックバット10はそのまゝ下位置 $L_3$ を保っている。同時にセレクトー6のバット13はセレクトー突上げカム70の斜面80を経過して、上下動はせず選針アクチエーター68と対応する。このようにして第2次の選針が行なわれる。予備選針で下位置 $L_3$ に位置されたセレクトジャックバット10の内、タックポジションに位置させる針のセレクトジャック5に対応するセレクトー6を、前記した予備選針と同様手段によつて選針アクチエーター68を作動して、選別する。選別されたセレクトー6はセレクトー突上げカム71によつて上昇され、その上昇により、セレクトジャック5は上昇させられ、セレクトジャックバット10は上位置 $L_1$ に位置することになる。

上記のようにしてキャリッジの左行時(矢印B方向)に第2次選針によつて上位置 $L_1$ 、中位置 $L_2$ 、下位置 $L_3$ の3位置に分けられたセレクトジャック5はロック55によつて、それぞれのセレクトジャック5に対応する針3が操作されて編成が行なわれる。

下位置 $L_3$ に位置するセレクトジャックバット10は、セレクトジャックプレッシャーカム63により押圧され、該セレクトジャック10に対応する針3のジャック4のジャックバット7を針溝2

内に退没させるために該ジャックバット7はロック55のクリヤリングカム51と当接せず全く上昇しない。即ちウエルトポジションをとる。

中位置 $L_2$ に位置するセレクトジャックバット10はロック55において何等の操作も受けず、ジャックバット7はクリヤリングカム51に従つて上昇し、該セレクトジャックに対応する針3はニットポジションをとる。

上位置 $L_1$ に位置するセレクトジャックバット10はロック55の中央部においてセレクトジャックプレッシャーカム62により押圧される。それまでに対応するジャック4のバット7はクリヤリングカム51に当接し針3を上昇させている。前記押圧によりジャックバット7がクリヤリングカム51を横切るまでジャックバット7を針溝2内に退没させるために、該ジャックバット7はクリヤリングカム51の頂部附近でクリヤリングカム51に当接せずにそれを横切つてニツティングカム53に当接し下降される。

次いで、セレクトジャック下げカム61の可動カム60を突出した状態で、上位置 $L_1$ 、中位置 $L_2$ のセレクトジャックバット10をすべて下位置 $L_3$ に下げ、選針アクチエーター69を作動して上記下位置 $L_3$ のジャックバット10の内、次コースの編成においてタックポジションをとる針とニットポジションをとる針を予備選択し、セレクトー突上げカム73によつて上記予備選択した針のセレクトー6を上位置 $L_1$ に上昇させキャリッジの左行(矢印B方向動)を終了する。

以下前記したと同様にキャリッジ、カム及び選針アクチエーターの操作を繰り返す。

なお、編成途中において、目移しが必要となる場合には、ロック55の両側に設けた目移し用カム77、78に、選針アクチエーター68、又は69の操作で選針した針を導き目移しの操作をする。

また2ロック式キャリッジを用いた場合でもその選針操作は1ロック式と同様である。

#### 産業上の利用可能性

本発明方法は、柄の配置及び形状を自由に発現したジャカード柄編地の編成、インターシャ編地の編成に利用できる。

#### 要約書

本発明は横編機における選針方法に関するもの

(4)

特公 昭61-20670

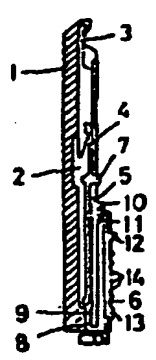
7

8

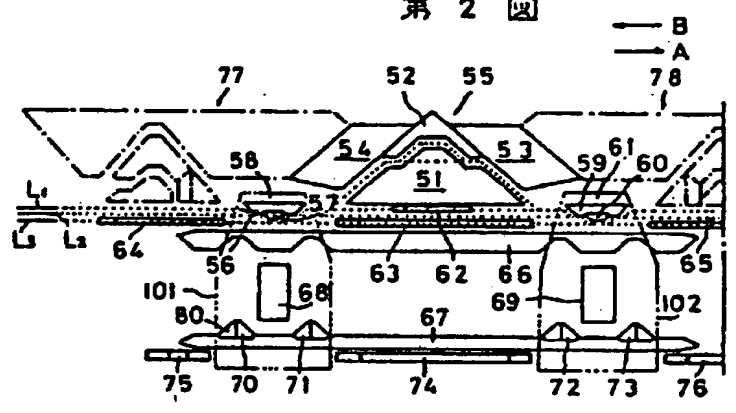
で、針のニツト、タツク、ウェルトの3ポジションを、電氣的に、電磁石を用いて選針するために、キャリッジに設けた1つのロックの両サイドに設けた選針部材の内、キャリッジの進行方向後側に位置する選針装置により針の予備選針を行ない針

を2つの群に分け、キャリッジの反転動的に前記予備選針した一方の群の針を更に選針して更に2つの群に分けることによつて上記3ポジションの選針を行なうようにした。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

